

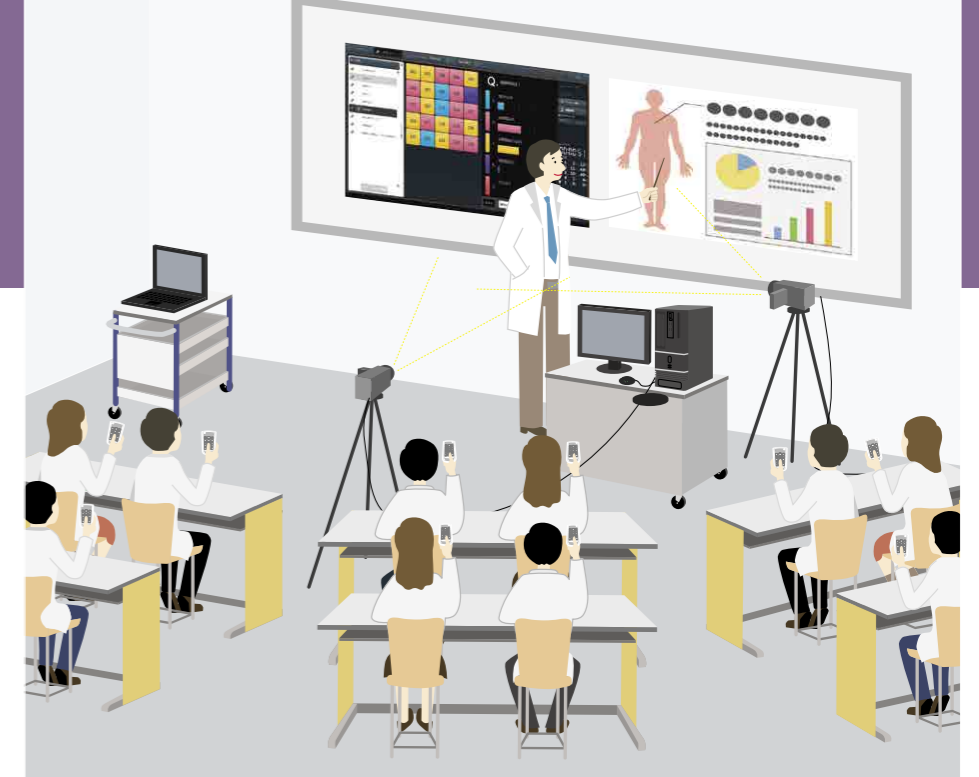
医療系の授業や実習（診療面接など）での利用

授業の活性化や、OSCE / アドバンスト OSCE などの実習時のフィードバックを円滑に実施。

現場の先生の声

大阪府立大学 真嶋 由貴恵 先生

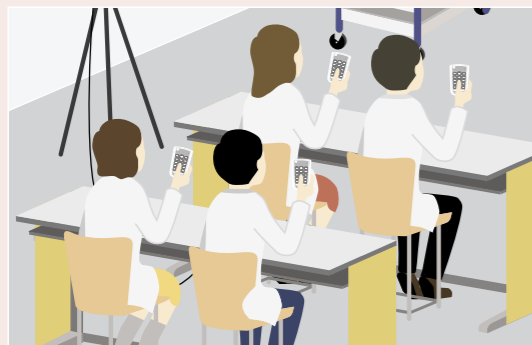
看護学部の必修科目「疫学」（受講者100名超）でアクティブ・ラーニングを実施し、その一部でPF-NOTEを利用、主体的な学習を行わせるように工夫しています。具体的には、疫学調査に関する最新のトピックスを学生に発表させるとともに、他の学生にはピアレビューを行わせ、しっかり聴いて考えることを促しています。更には、授業終了時に学生自身が授業内容を振り返ることができるよう振り返りシートに学習した内容や質問、感想などを記入させ、毎回教員からコメントをして学習意欲の向上に繋げています。PF-NOTEは、こうした授業をすすめる中で、講義資料や小テストにおける低正答率問題や今日のニュースで発表された疫学調査項目の提示などを行い、復習や考え方、実態の把握等に利用しています。学生からは、参加しやすく、すぐに回答した結果や意見を他の人と比較できる点が良いとの感想をいただいています。学生の内省的で主体的な学習を促進するためには、このような学生自身のアウトプットと学生へのフィードバックを意識した授業は効果的であると感じています。



授業での活用

POINT
大人数授業での学生の知識レベル・思考過程を瞬時に把握でき、それに基づいて講義を再構成できる。

授業中にクリッカーを使用して、学生の知識レベルや反応（思考過程や理解度）を瞬時に把握したり、それに基づいた講義の再構成・展開などアクティブ・ラーニングの要素を取り入れた一斉授業が行えます。さらに遠隔授業など、教室やキャンパスが異なる授業でも学生の反応結果を収集することも可能です。



POINT
様々な講義収録、演習の録画を簡単にし、反復学習により知識の定着に役立てられる。

講義や演習の映像・音声情報、教員が利用した教材などを一元化し、リアルタイムにビデオファイル化することが可能です。収録したコンテンツはすぐにe-ラーニング教材として利用できますので、サーバなどに保存しておけば、学生はいつでも授業の反復学習が行え、知識の定着をはかることができます。



PF-NOTE / PF-NOTE ポータブル

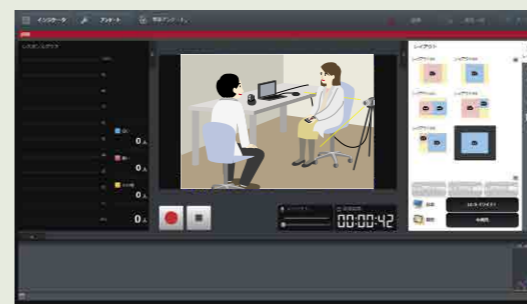


PF-NOTE タブレット

実習での活用

POINT
様々な実習で即時に反応結果を伝えられる。

OSCEやアドバンストOSCE、診療面接実習などの様々な実習シーンにおいて、医師役や模擬患者役の実技の様子を記録。その手技や応対など教員や他の学生が気づいたところをクリッカーでマークし、その証拠となる映像とともに反応結果を伝えることができます。また模擬患者役にクリッカーを持たせることにより、実習での「応対に対する共感性」「手技やフォロー面に対する反応」について収集することも可能です。



POINT
実習後のリフレクションで教員・学生からのフィードバックを確認できる。

実習後のリフレクションにおいて、教員が気づいた要点・ポイントなど記録映像を見ながら学生にアドバイスができます。また他の学生がマークした情報のサマリを映像とともに再生できるので、学生の反応が集中しているところ、相違しているところを振り返りの材料として利用することができます。



手書きテンプレートを利用してコメントをフィードバックできる（オプション）

予め用意している手書きテンプレートを利用して、実習におけるポイントとなる観点ごとの評価やコメントを入力し、振り返りに記録映像と合わせて確認することができます。OSCEやアドバンストOSCEでは各ステーションで行われる評価シートの代替として利用することも可能です。

